

# 多文化共生社会の実現に向けて

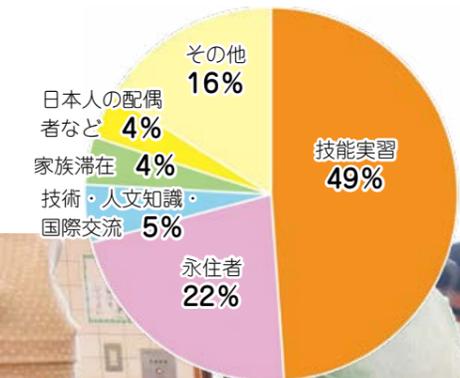
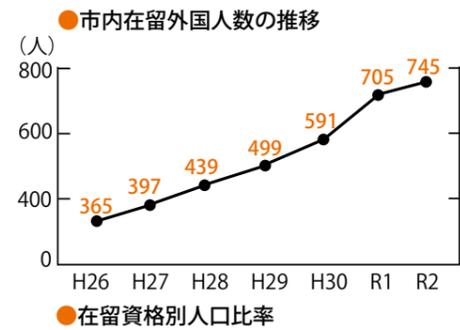
互いの違いを認め、尊重し、共に生きる社会をつくる

鹿屋市には、令和3年7月末現在、734人の外国人の皆さんが生活しています。本市に在在する外国人の約半数は、外国人技能実習制度を利用して来日しています。この制度は、外国からの実習生を一定期間（最長5年間）受け入れ、実習生がそこで身に付けた技能や技術、知識を生かし、母国で経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的としたものです。

制度が創設された平成5年以降、本市に住む外国人の数は増加を続け、地域の一員として身近な存在となつていきます。国や民族が異なる人々が、互いの文化や考え方の違いを認め、尊重し、地域社会の構成員として共に生きていく「多文化共生社会」の実現に向けた取り組みが求められています。

鹿屋市地域活力推進課

TEL 0994-31-1147



技能実習生が講師のベトナム料理教室

## 外国籍の人や外国にルーツを持つ人の居場所を目指して



NPO法人マザリープロジェクト  
和田 友美 代表

外国の方が困ったときに相談できる居場所として、また、地域の人たちとの架け橋となる活動を実施

最近では鹿屋市にも外国人技能実習生が多く訪れ、その実習先は建設業や畜産・農業、介護職など多岐に渡ります。ただし、実習生の語学レベルについては、日本語の研修を受けて日常会話ができる人もいれば、コロナ禍で満足な日本語教育が受けられずにあいさつ程度しかできない人もいます。そのため、言葉が話せない・会話ができないことで疎外感やストレスを感じ、苦しい思いをしている外国の方もいます。

外国の方を見掛けたら気軽に声を掛けてみてはいかがでしょうか。お互いを知り、理解をすることが重要です。国によってしゃべり方や表情の違い、意思疎通が難しく、戸惑うこともあるかもしれませんが、いろんな人がいて当たり前なのです。様々な人種や言語を話す人がいて当たり前と思える、そのような社会になってほしいと思います。

Multicultural

NPO 法人マザリープロジェクトで取り組む多文化共生の取組事例を一部紹介！



### 語学レベルに合わせた日本語教室の開催

学習する人の日本語レベルに合わせた教室を開催し、いろいろな国の人々との交流を実施。

### 在留外国人と地域住民との交流イベント

ぶどう狩りやお花見など季節に応じた伝統行事や、さつま汁などの郷土料理づくりを通して、地域の人々との交流やつながりを深めるイベントを実施。



### 外国籍の家庭への生活・学習支援など

病院への付き添い、日本語書類の作成、本人やその家族への学習支援など、日常生活における困り事への支援を実施。

皆さん、またお会いしましょう！

愛称 バム  
出身 タイ王国  
来歴 大学卒業後、2019年本市着任



▲お正月の餅つきに参加。つきたてのお餅は格別でした。

暮らして、日々寂しい思いをしている人がたくさんいます。困ったときに、すぐ近くに助けしてくれる人がいてくれたら、家族が近くにいるように安心できます。外国人の皆さんが、地域の行事やイベントなどに参加する機会が増え地域の一員となることで、これまで寂しい思いをしていた人も、より充実した生活を送ることができるようになるのではないかと思います。



▲人生初の稲刈り体験後に、ご家族に食事会に招かれました。

この度、2年間の任期を終了することになりました。鹿屋市に住み、多くの市民の方々と出会い、たくさん楽しい思い出ができました。

一番印象に残っているのは、市民の皆さんの優しさです。出前講座やイベントを開催する度に、いつも皆さんに親切に接していただきました。街を歩けば、初対面でも気さくに話し掛けてもらえて、鹿屋市はとても温かいところだなと感じました。また、「タイのことが大好き！」「いつかタイに行ってみたい！」と語ってくださる方もいて、遠く離れた私の故郷を好きでいてくれる人がいると知って、本当にうれしかったです。

現在、鹿屋市に住む外国人の数は年々増えていますが、実は日本語が分からなくて困っている人や、一人

国際交流員ケードラ  
ポップ・ピッチャーさん  
2年間ありがとう!!